

## 医療技術評価提案書のその後についての情報提供

各学会から提出された医療技術評価提案書のその後についての情報提供です。

中央社会保険医療協議会（中医協）診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会の第2回会合が、2015年10月30日に開催されました。

このうち、資料「技-1」に現時点の評価の全体が述べられています。

すなわち、すべての提案のうち重複を除くと886提案があり、それらは、第1回会合において次のように分類されました。

- ① 広い観点から評価が必要な技術 737件（門前払いにならなかったため、これから検討されるという意味です）
- ② 医療技術評価分科会の評価の対象にならない技術 149件（門前払いです）  
（②の内訳）
  - ・アウトカムが改善する等の有効性をデータで示せない医学管理の領域の提案 129件
  - ・薬機法（以前の「薬事法」のことです）上の承認が得られていない医薬品等を用いる技術 20件

実際に、どの提案が①あるいは②に分類されたかは、資料「技-2」で確認できます。

各学会からの提案について確認していただければ幸いです。

今後の進め方については、2016年1月に予定されている会合において、「保険適用する優先度が高いと考えられる技術」が選定され、それらの提案が保険収載されることになっています（資料「技-4」）。

重要な資料である「技-1」「技-2」「技-4」を添付してお送りします。